



“ジュネーブから今を見る” 今日のヘッドライン

北米

2018年3月6日

トランプ大統領の成績表？ 中間選挙の予備選が目前に

米国は中間選挙を11月に控え、共和、民主両党が候補者を選出する予備選挙が始まります。共和党のトランプ政権が上院、下院で共に過半数維持できるかはその後の政策運営に大きく影響するだけに、注視が必要です。

米国中間選挙：11月の中間選挙に向け、候補者を絞る予備選挙が始まる

米国の中間選挙（大統領選挙の中間年にある連邦議会や州知事などの統一選挙）に向けて、共和、民主両党がそれぞれ上下両院議員候補者を選ぶ予備選が2018年3月6日にテキサス州を皮切りに始まります。その後各州で順次予備選が実施される運びです（図表1参照）。中間選挙はトランプ大統領の政権運営に対する評価を反映し、大統領任期後半の政権運営や再選戦略に影響が想定されます。

どこに注目すべきか：

米中間選挙、予備選挙、世論調査、関税

米中間選挙を11月6日に控え、共和、民主両党が候補者を選出する予備選挙が始まります。共和党のトランプ政権が現状の上院、下院で共に過半数を維持できるかは政策運営に大きく影響するだけに、先の長い話ですが注視が必要です。まず、中間選挙の要点を振り返ります。

中間選挙で改選されるのは上院が3分の1に相当する34議席で内訳は共和8議席、民主26議席で、改選議席に偏りがあり、民主党はより多くの議席で争うこととなります。ただ、上院100議席は民主、共和の議席が伯仲しており、民主党が現有勢力を2議席増やせば逆転できる計算です（図表1参照）。任期2年の下院は全議席が改選されます。現有議席では共和が民主を45議席上回りますが、民主が現有勢力から25議席増やすと過半数を確保できる見込みです。

次に、現状を知るべく、米政治サイトのリアル・クリア・ポリティクスが集計した世論調査を見ると、3月1日時点の主要世論調査平均値では、民主党の支持率が45.9%で、共和党の36.6%をリードしています。中間選挙との連動性が高いといわれる大統領の支持率も共和党トランプ大統領の不支持が支持を上回っています（図表2参照）。減税法案成立などから、小幅回復も見られましたが、全般に伸び悩んでいます。

なお、トランプ大統領が唐突に公表した鉄鋼やアルミニウム輸入への関税提案は、中間選挙へのアピールを意図していたと思われます。しかしながら、世論の支持は低く、共和党は関税の今後の取り扱いに苦慮しそうです。

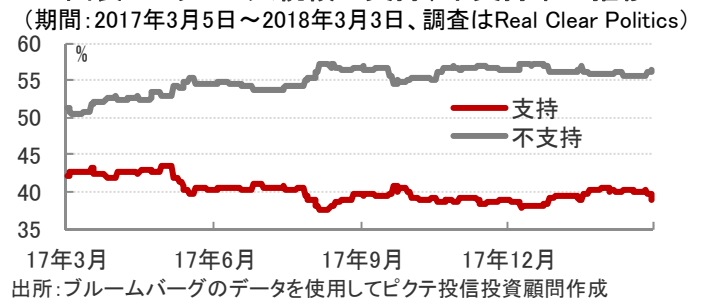
一方、民主党は共和党の減税以外は敵に得点を与えていないことや、トランプ大統領への世論の支持が低い点などは選挙戦を有利に展開するようと思われます。しかし、民主党に対しても、反対ばかりで、対案で存在感を示していないとの批判があります。なお、テキサス州の予備選挙ですが、報道などを見ると、民主党は候補者選定に手間取っていたなど、流れに乗り切れていないようにも見えます。両党決め手に欠ける中間選挙。どちらが流れを作るのか？

図表1：中間選挙への流れと、共和、民主の議席数



※議席数は下院18年1月16日、上院は直近。星は民主党過半数改選の議席数
出所：各種報道等を参考にピクテ投信投資顧問作成

図表2：トランプ大統領の支持、不支持率の推移



ピクテ投信投資顧問株式会社

●当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。●運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。●当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。●当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。●当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。●投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。●投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の対象ではありません。●登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。●当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。